

就職支援関連図書の学内整備についての一考察

—名古屋経営短期大学の事例をもとに—

A Study of the Improvement in the University Concerning Employment Support Related Books:

The Case of Nagoya Management Junior College

大仲 聡子
Satoko Oonaka

島宗 俊郎
Toshiro Shimamune

松井 直美
Naomi Matsui

〈摘 要〉

本学における就職支援関連図書について着目し、大学図書館とキャリア支援課が互いに情報を共有するとともに、その意義、役割、有効性を重視し、連携した選書・配架を行うことによる就職支援関連図書の利活用、及び学生就職支援の今後の展開について考察する。

〈キーワード〉 就職支援 図書 選書 狹隘化 大学図書館 キャリア支援
他部署連携

I. はじめに

学生に対するキャリア支援は、「キャリア形成」と「就職」という2つの支援からなされている¹⁾。「キャリア形成支援」は、生き方や進路の設計をすることである。学生の生涯を見据えた進路・職業選択やキャリアデザイン、職業的能力の育成をサポートする教育的方策である。そして「就職支援」は、大学卒業後、企業等に就職することを希望する学生に、就職活動で必要な知識や情報の提供、業界・企業研究、面接練習、履歴書・エントリーシートの書き方等を指導することに分けられている²⁾。

本学は「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」を建学の精神としている。キャリア支援課では、学生の就職に関する個別相談や質問に親身に就職支援を行っている。学生の個々を尊重するとともに、学生が描く目標を実現するための具体的なプランをつくり、就職活動をきめ細かく支援している。自主的な就職支援の一助として、キャリア支援課内で所有する各種就職支援関連図書を活用すべく、学生に閲覧・貸出しを行っている。大学図書館との連携により、「キャリア形成支援関連図書」と「就職支援関連図書」の選書・配架を行い、就職支援体制を整えている。

Ⅱ．本稿の目的

キャリア支援課では、学生への就職支援のために各種就職支援関連図書を活用している。そこからみえてきた就職支援関連図書の図書館蔵書との重複、予算的な問題、図書館での図書狭隘化、選書、配架方法などの学内調整・環境整備の必要性を感じ、更に充実した就職支援関連図書の選書方針・蔵書の充実をキャリア支援課と図書館で共有することを目的とした。キャリア形成支援と就職支援との図書についての蔵書構築の考察を通じ、就職支援関連図書の学内における環境整備再考察を試みる。

Ⅲ．学内整備の方法

本稿では、就職支援関連図書の学生への利活用を目的としたキャリア形成支援と就職支援との蔵書構築についてのキャリア支援課と図書館との選書、配架、学内整備についての情報共有・情報提供の仕組みの方法について模索する。

Ⅳ．キャリア支援課での就職支援体制

本学のキャリア支援課における、就職支援に携わる職員数は現在5人である。学生への就職ガイダンス・個別面談・相談等を通じ、就職意識・コミュニケーション力・モチベーションを向上させる試みを継続的に行っている。具体的な就職支援は、①進路面談（個別・グループ）、②就職活動・準備相談、③履歴書・エントリーシートの書き方、④筆記試験対策、⑤面接試験対策、⑥自己分析、⑦業界・企業研究相談、⑧企業合同説明会案内・求人票等の資料掲示・提供などを行っている。

特にメンタル面が不調な学生、不安要素のある学生、就職不採用等の学生へは、随時個別面談を行い、時間をかけて慎重かつ丁寧な対応を行っている。

Ⅴ．就職支援関連図書の活用

就職採用試験において、書類選考での提出書類として、履歴書・エントリーシートが指定される。キャリア支援課では毎年「就職の手引」を編集・発行し、就職年次学生に配布している。「就職の手引」の履歴書・エントリーシートの書き方のページでは、一事例を掲載し、注意書きを添えている。そして就職ガイダンスでは、履歴書・エントリーシートの書き方の説明を行っている。

学生は、履歴書・エントリーシートの書き方の図書を書店購入や大学図書館での貸し出しやインターネット検索などをして自力で書こうと努力している。しかし、いざ作成に取

り掛かると、思うように書けない学生がほとんどである。自己分析・企業研究が十分なされていないと、履歴書・エントリーシートの記述はかなり難しく、書類選考を通過することは困難である。また文字の正確な表記や文章表現能力も問われる。書類選考通過のためにも、次に続く面接試験対策のためにも、学生はキャリア支援課での継続的できめ細やかな添削指導を受けていくことが望ましい。キャリア支援課では、履歴書・エントリーシート作成の参考文献として就職支援関連図書を購入し、記載されている事例を参考とするよう学生に閲覧・貸出も行っている。

VI. 就職支援関連図書の本学での実際

1. 蔵書検索

① 図書館蔵書

OPAC（Online Public Access Catalog）での蔵書検索。

これによりキャリア支援課での蔵書・選書の重複を発見することができる。

② キャリア支援課蔵書

課内でのエクセルデータのみ検索可能。（非公開）

2. 図書の分類

① 図書館分類

NDC（Nippon Decimal Classification）日本十進分類法 9 版による分類。

② キャリア支援課分類

実務別オリジナル分類。

面接対策、筆記試験対策、履歴書・エントリーシート作成、資格・検定対策など。

3. 従来の配架状況

① 図書館配架

図書館内、主に NDC366、377 の書架に配架。

② キャリア支援課配架

1 号館 3 階進路指導室内、就職関連図書架に配架。

平成 27 年以前、大多数はキャリア支援課の事務キャビネットに配架し、その一部は学生サポートセンター内学生課の配布用パンフレット類に混在していた。そのため進路指導室に蔵書を一括して配架した。その際には所蔵を精査し、蔵書点検を行った。

4. 従来の選書

① 図書館選書

各学科の領域選書（半期ごと）、及び教職員のリクエスト（随時）についての選書（但し、年次実務書を除く等の選定基準あり）。

② キャリア支援課選書

図書館司書資格を有するキャリア支援課職員による半期ごと、もしくは年末における選書。

5. 図書の閲覧・貸し出し

① 図書館での閲覧・貸し出し

図書館開館日時に限り、図書館内で閲覧可能。

貸し出しは学生証を提示するのみで通常 5 冊・2 週間貸し出し可能としている。（夏期休業時及び年末年始等は別規程あり）

② キャリア支援課での閲覧・貸し出し

キャリア支援課職員勤務時間内に限り、進路指導室内もしくは学生サポートセンター内での閲覧可能。

貸し出しはキャリア支援課窓口にて貸出表に学籍番号、氏名、図書整理番号、書名、日付を記載する。1 週間程度の貸し出しとしているが、特別な規定はない。大学図書館貸出冊数とは別での貸し出しとなる。

VII. 主な事実発見と課題

キャリア支援課での就職支援関連図書の存在が学内に周知されておらず、在架確認も他部署から検索できる状態ではない。また進路指導室内での所蔵のため、活用頻度が大変低い状態である。実際、図書館職員にさえキャリア支援課での蔵書の存在を周知できていなかった。

本学図書館では、就職支援関連図書の選書において、予算的に購入が難しい現状と図書の狭隘化問題のため、資格検定問題集や年次実用図書を除く選書方針である。学生は資格検定問題集や年次就職関連実用図書については、より新しいものを求める傾向にあるため活用されにくい。また本学に限らず、各組織の現場においては、経費削減など様々な理由により、図書・消耗品は決して潤沢と言える状況ではない。この現状を概観し、学内での情報共有・情報提供を行い、購入図書の重複を回避し、そして就職支援関連図書を有効に選書・配架して利活用をいかに取り組んでいくかが、現況図書の選書を共有する職員の重要な課題の一つとして挙げられた。

また就職支援関連図書の選書上での実際、誰が、どのように対応するか、という合理的

配慮に必要な学内整備のあり方や就職支援対策の共有が必要である。このことは、現場力、分野横断力、俯瞰力、実践力といった専門学問分野以外の能力や異分野融合、社会連携型研究の発展を意図した実践にもつながる。

VIII. 連携した取り組み事例

キャリア支援課と図書館担当者間で情報交換を行うことにより、就職支援関連図書の選書・配架を改善するためのきっかけを得ることができた。

1. 配架

学生に対するキャリア支援は、「キャリア形成」と「就職」という2つの支援に分けられる。平成27年には、キャリア支援課職員と大学図書館担当者との協議から、今後はおもに「キャリア形成支援関連図書」を大学図書館において配架し、「就職支援関連図書」をキャリア支援課で配架することとした。

2. 選書

同じく平成27年には、大学図書館担当者は、就職活動の現場に直面しているキャリア支援課職員に就職支援関連図書の選書協力を依頼し、大学図書館蔵書の充実を図った。

「キャリア形成支援関連図書」は、生き方や進路の設計をする参考になるものである。そのため生涯を見据えた進路・職業選択やキャリアデザイン、職業的能力の育成を援助する関連図書を選書するとともに、就職活動を題材にした小説なども取りそろえた。(表1・表2・表3)

そして「就職支援」関連図書は、大学卒業後に企業等への就職することを希望する学生に、就職活動に必要な知識や情報の提供、業界・企業研究、面接練習、履歴書・エントリーシートの書き方等の参考になるものである。最新版の図書をキャリア支援課職員が選書した。(図1・図2)

3. 大学図書館での就職支援関連図書展示

本学図書館では、図書展示台を用いて様々なテーマの図書を展示している。「キャリア形成支援」図書展示の目的は、価値観や視野を広げ、探求心を育むことである。平成27年秋季、キャリア支援課にて選書した「キャリア形成支援図書」を不定期間ではあるが、図書館入口より利用カウンター前で展示した。大学図書館では、展示テーマ名、案内見出し、図書説明などのキャプションを作成するなど、利用者の注目を集める工夫を行い、利用促進に努めた。

表 1：平成 27 年度大学図書館所蔵 就職関連図書リスト

	書 名
1	就活生のための企業分析
2	「見た目が 9 割」内定術
3	就活女子のための 就活迷宮から抜け出すトビラ
4	もうだいじょうぶ！ 心臓がドキドキせず あがらずに話せるようになる本
5	就活のまえに一良い仕事、良い職場とは？
6	働く人の夢—33 人のしごと、夢、きっかけ
7	会話力の基本（ちょっとした言い回しで損をしない 99 のルール）
8	こんな人と働きたい
9	これから就活を始める君たちへ

表 2：平成 28 年度大学図書館所蔵 就職関連図書リスト

	書 名
1	仕事に追われない仕事術 マニャーナの法則 完全版
2	仕事のミスが絶対なくなる頭の使い方
3	最強の働き方；世界中の上司に怒られ、凄すぎる部下・同僚に学んだ 77 の教訓
4	「言葉にできる」は武器になる
5	「空気」でお客様を動かす
6	介護は人間修行：一生かける価値ある仕事
7	格闘する者に〇
8	ワタクシハ
9	ハロワ
10	あの子が欲しい
11	シュウカツ頻度
12	THIS IS JAPAN—英国保育士が見た日本
13	「人間の尊厳」を考えるための練習問題
14	最強の介護職、最幸の介護術～“燃える闘魂” 介護士が教える、大介護時代のケアのあり方

表 3：平成 29 年度大学図書館所蔵 就職関連図書リスト

	書 名
1	就活を採用者視点で科学する
2	文系が 20 年後も生き残るためにいますべきこと
3	本日は、お日柄もよく
4	「原因と結果」の経済学—データから真実を見抜く思考法
5	新しい働き方 幸せと成果を両立する「モダンワークスタイル」のすすめ
6	女性に伝えたい 未来が変わる働き方 新しい生き方のヒントが見つかる、二極化時代の新提言
7	女性のためのリーダーシップ術
8	働く女子の運命
9	そうか、君はカラマーゾフを読んだのか。仕事も人生も成功するドストエフスキー 66 のメッセージ

合計：32 冊、平成 29 年 10 月現在

就職関連図書は、キャリア支援課に最新の実務実用図書があります。
キャリア支援課では、エントリーシート・履歴書作成指導もしています。
どうぞご活用ください！

就職の赤本 総合対策(2016)
 履歴書 エントリーシート 志望動機 自己PRの書き方(2016)
 面接の虎(2016)
 内定者はこう話した！面接・自己PR・志望動機完全版 グループディスカッション 集団面接・個人面接 2017年度版
 人気No. 1「内定塾」が教えるエントリーシート・履歴書の書き方 2017年度版
 内定者はこう書いた！エントリーシート・履歴書・志望動機・自己PR完全版 2017年度版
 就職試験これだけ覚えるSPI高得点のコツ SPI3に対応 '17年版
 就職試験 これだけ覚える面接・エントリーシート'17年版
 日経 業界地図(2016)
 人気企業内定者に聞いた 面接の質問「でた順」50 2016 年度版
 最新最強の履歴書・職務経歴書 '17年版
 最新最強のSPIクリア問題集 '17年版
 最新最強の一般常識クリア問題集 '17年版
 最新最強の一般常識一問一答 '17年版
 最新最強の適性検査クリア問題集 '17年版
 最新最強の作文・小論文 '17年版
 最新最強のCAB・GAB超速解法 '17年版
 最新最強の就職面接'17年版
 最新最強の面接・自己PR・グループディスカッション'17年版



平成27年12月購入図書リスト

図1：平成27年キャリア支援課蔵書就職関連支援図書リスト 別置案内

就職関連図書は、キャリア支援課に
最新の実務実用図書があります。

この業界・企業でこの「採用テスト」が使われている！[2018 年度版]
 食ってみたい履歴書・職務経歴書と添付手紙の書き方'18 年版)
 1 週間マスター 時事&一般常識の完璧対策 2018 年度版
 ロジカル面接術 2018 年基本編
 そのひと言で 面接官に嫌われます
 公務員の「お仕事」と「正体」がよくわかる本[第2版]
 資格取り方・選び方全ガイド 2018 年
 朝日キーワード就職 2018 最新時事用語&一般常識
 業界・企業研究にも使える 図解でわかる 時事重要テーマ 100 2018 年度版
 絶対内定 2018——自己分析とキャリアデザインの描き方
 絶対内定 2018 エントリーシート・履歴書
 絶対内定 2018 面接
 絶対内定 2018 インターンシップ
 絶対内定 2018 面接の質問

洋泉社
 成美堂出版
 日経 HR
 ワック
 青春出版社
 秀和システム
 高橋書店
 朝日新聞出版
 日経 HR
 ダイヤモンド社
 ダイヤモンド社
 ダイヤモンド社
 ダイヤモンド社
 ダイヤモンド社



平成28年12月購入図書リスト

キャリア支援課では、エントリーシート・履歴書作成指導もしています。
どうぞご活用ください！

図2：平成28年キャリア支援課蔵書就職関連支援図書リスト 別置案内



図 3：大学図書館での就職関連支援図書コーナー展示風景

4. 大学図書館での就職支援関連図書（就職支援図書コーナー）

展示を終えた就職支援関連図書は、カウンター付近の低層書架に独立して別置き、就職支援関連図書コーナーとして案内見出しとともに配架している。（図 3）図書装備としては、標準的な装備（蔵書印押印、カバー止め、ラベルシール・バーコードシール・タトル貼付）が施されている。NDC 分類での配架とは異なる別置のため、OPAC 検索での図書所在は、「就活コーナー カウンター前」としている。更に別置目印シールを図書の背に貼付して、所在をわかりやすくし、散逸を防いでいる。平成 27 年以前に大学図書館で所蔵していた就職支援関連図書も含め、平成 29 年 10 月 15 日現在、50 冊を配架している。

5. キャリア支援課での就職支援関連図書（進路相談室）

平成 27 年以前の所蔵していた就職支援関連図書を含め、現在、147 冊配架している。平成 27 年に大幅な蔵書確認を行い、汚損・破損図書、年次が古い検定試験問題集や図書等を廃棄し、実務項目別に配架を行った。分類としては、①企業・業界研究、②就職活動参考書、③履歴書・エントリーシート、④面接対策、⑤SPI/GAB/CAB、⑥時事・一般教養、⑦小論文・作文、⑧資格・検定、その他、とした。（図 4）

また就職関連支援図書を進路相談室に別置することにより、わずかながらではあるが、大学図書館での図書狭隘化が解消され、キャリア支援課との図書重複が回避されてきている。そして進路相談室内の就職関連支援図書は、就活生にも利活用されてきている。（図 5・図 6）



図4：進路相談室内 就職関連支援図書配架風景



図5：進路相談室での利用風景1



図6：進路相談室での利用風景2



(株)東洋経済新聞社、(株)マイナビ出版、(株)日経 BP 社 許諾済
図 7：平成 29 年前期キャリア支援課新着図書案内

6. 掲示・広報等

① 図書館内広報

平成 27 年より就職支援関連図書が、キャリア支援課に在架するため、キャリア支援課で図書リストを作成し、大学図書館で掲示している。それらの就職支援関連図書の利用を希望する就活生は、必然的に進路指導室やキャリア支援課へ移動することになる。この図書リストの掲示は、学生を案内誘導することを意図している。(図 1・図 2)

② キャリア支援課広報

進路指導室内での蔵書ため、その所在が学生並びに教職員にも分かりにくい状態である。その所在周知・案内誘導のために、就職支援関連図書リストをキャリア支援課掲示板にも掲げた。(図 1・図 2) そして平成 29 年 4 月には、継続図書の入荷を知らせるために図書画像入りの新着図書入架案内もキャリア支援課掲示板や壁面に掲示し、図書利用を促した。(図 7)

単に、図書リスト掲示するばかりではなく、学生面談指導時や就職ガイダンスにおいてもアナウンスを行い、就職支援関連図書の所蔵・利用を周知している。

7. 進路相談室での就職支援関連図書利用とその成果

履歴書・エントリーシートの書き方、面接対策などの図書は、一過的に閲覧・貸し出し

利用されている。時事問題、一般常識などについては、試験前に数回読み返され、資格・検定問題集などは、反復練習のために自ら購入する学生が多い。就職広報活動解禁時期・就職選考活動解禁時期の変更、経済情勢、試験問題の内容更新などもあり、学生は常に新しい情報を得ようとしている。そのため就職支援関連図書も最新版を取りそろえる必要がある。

大学図書館での就職支援関連図書リスト掲示を行うことにより、就活学生に就職支援アドバイスを行う専門部署であるキャリア支援課に案内・誘導することができた。それにより履歴書・エントリーシートを作成する学生が、キャリア支援課員から助言や添削指導を受けることができ、またキャリア支援課員が図書利用学生に声を掛け、学生とのコミュニケーションを図ることにより、就職の進捗状況や相談を聞くきっかけを作ることができた。

IX. 今後の展望と課題

キャリア支援課と大学図書館が、就職支援関連図書に連携して関わったことは、次のような成果を挙げた。

大学図書館での就職支援関連図書の展示やコーナー設置により、就活生のみならず、教職員、並びに低学年にもその存在を周知することができた。そのためキャリア支援課においても個人面談・相談、就職ガイダンス等を行うことにより、図書館利用を促進させるアピールを可能とした。オープンキャンパスなど学外からの見学者に対しても、キャリア支援課、及び大学図書館の双方で連携して就職支援を行っていることをPRすることができた。図書重複購入を回避し、予算節約にもつながった。そして何より就活生に就職支援アドバイスを行う専門部署に案内・誘導することを可能とした。

このような成果を得る一方、課題も明らかになった。それはまだ学生への働きかけが十分にできているとはいえず、学生にとって魅力のある内容となるよう、広報での効果的な方法を試行錯誤していく必要がある。また今後、これまで実施してきた取り組みを継続するためには、就職支援関連図書に関するマニュアル整備をする必要がある。さらにキャリア支援の質を高めていくためには、就職支援関連図書の蔵書拡充、学生のニーズを把握し、キャリア支援課での就職支援・指導の充実、アドバイスの質向上を行う必要がある。

キャリア支援は、昨今、重要性を増している学生支援活動である。本学にとっては建学の精神に基づいて、全学的に取り組むべき課題でもある。キャリア支援課と大学図書館とが連携してキャリア支援を行うことは、全学的な活動の中に図書館を組み込み、位置づけることでもあり、大学図書館の存在価値を高めることにもつながる。大学図書館の資料、データベースを余すところなく連携・提供し、大学内を結びつけることで大学全体としての効果的な学生支援の実現に貢献できるのではないかと考える。このように他部署との連携は、キャリア支援のみならず、学生支援全般において不可欠である。

注

- 1) 労働政策研究・研修機構 (2014) 「大学・短期大学・高等専門学校・専門学校におけるキャリアガイダンスと就職支援の方法―就職課・キャリアセンターに対する調査結果―」 JILPT 調査シリーズ No. 116、P 4
- 2) 大森真穂 (2017) 「大学教育における就職支援の教育的課題とアプローチ」立教大学教職課程 2017 年 4 月教育研究 29 号、P 49

参考資料・参考文献

- ・伴 周一、大久保尚紀、岡田悟志 (2013) 「学習支援・キャリア支援機能を持たせた日本大学理工学部船橋図書館の取り組みと利用状況」日本図書館情報学会研究大会発表論文集 62 巻、P 81-84
- ・文部科学省・科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会 「大学図書館の整備について (審議のまとめ) ―変革する大学にあって求められる大学図書館像―」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm 2017.10.15 最終閲覧